

# RACCOONKAI 報告

常務理事 今西淳子

## Raccoonkai in Seoul, Korea on August 1



ソウルで行われたジャパン・リターン・プログラムのジュニアサミットのコーディネーターを務めた翌日、学生さんと一緒に通訳をしていただいた金雄熙さん（96年度）李來賛さん（96年度）と奥様とハンナちゃん、尹錫姫さん（95年度）と釜山から駆けつけてくださった朴貞蘭さん（96年度）と一緒に、ホテルの近くの「Ming 1956」という洒落た中華料理店でラクーン会を開催しました。なかなか厳しい世の中ですが、皆さん、それぞれの職場で、それぞれがんばっていらっしゃる様子を伺いました。

## Raccoon Visit in Bangkok, Thailand on September 25

私がアジア太平洋コーディネーターを勤める CISV (Children's International Summer Villages) という子供の夏のキャンプの組織が、2005年の夏にバンコクで年次総会を開催するので、会場下見と打ち合わせ



のためバンコクを訪問しました。プラチャーさん（99年度）とは帰国日の朝にホテルで朝食を一緒にして、空港まで送っていただくという、タイとしては大変ありがたいスケジュールになりました。左の写真は、「お父さんそっくり」と言われているお嬢さんのアリサちゃんですが、これは2003年3月にバンコクを再訪した時のものです。この時は、プラチャーさんには、研究対象の珍しい魚を捕まえるために、インドとブータンに出張中でお会いできませんでしたが、ご主人のいないお宅にお邪魔して、タイの家庭料理をご馳走になりました。

## Raccoon Visit in Hanoi, Vietnam on December 13



ベトナムの Institute of International Relations 主催、笹川平和財団協賛、CISV 協力の「ヤングリーダーズ・ワークショップ」(写真)に出席するためハノイを訪問しました。アジアにおけるITについて発表するため、SGRAからマキト研究員（95年度）も招待されました。会議終了日、チーさん（99年度）ご一家が迎えに来てくださり、昼食の後、ご主人が設立したタンロン大学に行き、日本語学習者の卒業論文発表を聴講しました。皆さん、ベトナムの料理や年中行事や史跡のことを、日本語で活発に発表してくださいました。

## Raccoon Visit in Guangzhou, China, on February 23



既に「謎の肺炎」は広州で問題になっていて、前日のC I S Vワークショップも規模を縮小して開催されたのですが、後にあのようなS A R S騒動になるとは夢にも思いませんでした。広州中医薬大学科技産業園の奇錦峰さん（01年度）に、現在建設中の産学協同施設をご案内いただきました。広州郊外の広い敷地に現在の建物が建設されたのが既に数年前というのですが、まだ正式稼動していない様子。この悠長さ（？）が不思議なんですよ、中国は。

## Raccoonkai in Shanghai, China, on March 16

上海の急成長ぶりはいつもいつも聞かされているのに、既に10年以上行っていなかったので「ちょっと行ってみる」ことにしました。「近代化」の先入観が先行してしまったのか、久しぶりの上海は、かなりの無秩序に感じました。（たとえば車の運転しかた・・・赤信号では止まってほしい、とか）日曜日の夜に、上海大学の高玲娜さん（95年度）、ちょうど出張中の高偉俊さん（95年度）、そしてたまたま上海師範大学で集中講義中の李恩民さん（97年度）と、ラクーン会を開催しました。ジャパン・リターン・プログラムの池崎美代子さんも一緒だったので、「上海万博にむけていかに上海人にマナーを教えるか」という話題で盛り上がりました。写真の書軸は、蘇州の寒山寺の前のお店で、理事長の長寿を願う漢詩を作って、それを立ったまま軸に直接書いてくれたものです（写真左）。漢詩の一番上の段は、理事長の名前になっていて、その漢字を使って詩作をしてくれました。このような才能の持ち主が、観光地の門前町の小さな店に居ること自体に、中国文化の深さと広さを感じました。



ラクーン会は、渥美奨学生の同窓会で  
その名前は故渥美健夫氏の手遊びの狸の絵に因みます